

TGM

切断機全般が対象

8月末までキャンペーン

TGM（東京都千代田区、弘中崇社長、03・6261・1260）は8月31日まで、イタ

リア・ポッテロ社製切断機の特別販売キャンペーンを実施する。ポッテロ社はガラス切断機を中心に、面取り機、NC変形加工機、合わせガラス製造ラインなどを製造。年間の販売台数約1000台のうち切断機が半分の約500台を占め、切断機の販売で世界ナンバーワンを誇る。国内でも400台以上の設備を販売している。対象は、単板ガラス切断機「353BKM—MINI」、シリーズ最高の生産性と省人化を実現した合わせガラス切断機「548LAM」など切断機全般。円安、材料費高騰の負担費用をバックアップする。同社は専門のコンサルタントと提携し、「ものづくり補助金」などの申請支援にも対応する。

世界的な供給不足により、特別価格は32年ぶりとなる歴史的な円安があり、国内のガラス加工業者が苦しんでいる。ことから、特別価格は32年ぶりとなる歴史的な円安があり、国内のガラス加工業者が苦しんでいる。一部をバックアップする。

単板ガラス切断機の対応ガラスサイズは、レギュラーサイズ（3810×2540^ミ）、ジャン

ボサイズ（6100×3355^ミ）、中間のインターミディエイトサイズ（4600×3210^ミ）などがあり、日本市場向けの96×72^{インチ}（2468×1829^ミ）サイズに対応可能な「353BKM—MINI」も展開。顧客のさまざまなニ

ーズに幅広く対応できる。「343」シリーズは量産型で、切断ライン構成（採板機、折り割り台と運動）。「353」シリーズは独立型で、限られたスペースでガラスの載せ降ろし、切断と折り割りが単独でできる。量産型にチルト機能を追加した「363」シリーズもある。

国内最大の導入実績 合わせガラス切断機は国内最大の導入実績がある。ベストセラードモデルの「520LAM」から、シリーズ最高の生産性と省人化を実現する「548LAM」までラインアップが豊富にあり、Low E膜除去、20^ミの耳取り処理も可能。



単板ガラス切断機（上）、合わせガラス切断機などポッテロ社製切断機を特別価格で販売

「BKM」はスタンダードモデルで切断に特化している（「353BKM—MINI」など）。「BCS」はアップグレードモデルで、切断にオプションを装備することで、さまざまな加工が可能になる。ハイエンドモデル「EVO」はオプション二つに加えて、切断の加速度も他のモデルより高くなる。

標準機能は①異形切断 ②スキャン機能③CAD機能④自動板厚調整機能。オプションは①Low E膜除去②自動ラベール貼り③レーザーマーキ

国内最大の導入実績 合わせガラス切断機は国内最大の導入実績がある。ベストセラードモデルの「520LAM」から、シリーズ最高の生産性と省人化を実現する「548LAM」までラインアップが豊富にあり、Low E膜除去、20^ミの耳取り処理も可能。

ポッテロ社はガラス切断機の老舗メーカーで1957年に創業。ソフトと同社の設備を連動させることで、事務所からデータをコントローラー・シャトルシステムなどの自動倉庫装置に転送し、採板 切断まで自動でできる。人手不足が深刻化していることから、自動化、省人化の流れで導入が進んでいる。自動倉庫装置は、ガラスの品種が増えても在庫スペース、切断スペースを有効活用できると好評だ。